

未来への責任を果たすために! まつばら和生市政報告



立命館誘致を訴え市長と街宣



衆院選で柴橋代議士の応援演説



「民主・未来」代表質問に登壇



中央卸売市場初せりにて(午前5時)



全国議長会から10年勤続表彰

**市政改革の継続を!
市長選挙は現職の「細江茂光」氏を支持します。**

【未来のための選択】

市長選挙は、1月31日告示、2月7日投開票と決定しました。自民党・民主系とともに、立命館誘致・市岐商移管問題で分裂した会派ごとで支持が割れています。私は、地方都市が全国的に厳しい中、民間企業出身の経営感覚と行動力で、職員定数の1割削減（市民病院の医師・看護師、教員、消防士等を除く）、市営バスの民営化、給食業務や保育所の一部民間委託等々の行政改革を断行し、借金（普通債）を約3割削減、健全財政を維持しながら、シティ・タワー43や駅前広場の完成、観光拠点としての鵜飼・川原町・岐阜公園周辺整備、市民病院（黒字経営）西病棟の建て替え、産廃問題の処理、教育環境の充実、柳津町との合併、企業誘致等々を推進してきた手腕を評価し、現職の細江茂光氏を支持しています。真の改革には、旧来の体制に居心地が良かった抵抗勢力の反発がつきものであり、そうした流れが対立候補の支持に回ったことにより、かなりの激戦が予想されています。

ます。時代の変化の荒波の中、勇気と経験を持って市政改革を継続できるのは誰なのか、是非ともご判断を賜りたいと存じます。

【立命館誘致が否決】

3月議会の最終日、立命館誘致関連予算と立命館誘致決議案が、21対22のわずか1票差で否決されました。採決に参加できない議長は誘致派であり、誠に惜しく残念な結果です。この間、私自身の政治活動、直接に民意を問うための細江市長の出直し選挙（無投票再選）、市民団体（子どもたちの未来を考える市民の会他）との連携の中で、しがらみの無い大多数の市民の賛意を肌で感じただけに、ご期待をいただいた皆様に申し訳なく、力不足をお詫び申し上げます。今後とも、岐阜市の未来のために変わらぬ勇気を持ちながら、将来を見据えたまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。そのためにも、2月の市長選挙では、誘致に反対した市議らが揃って支持する対立候補に、どうしても負けるわけにはいきません。

